

臨時増刊

予算特集号

2012 4/25

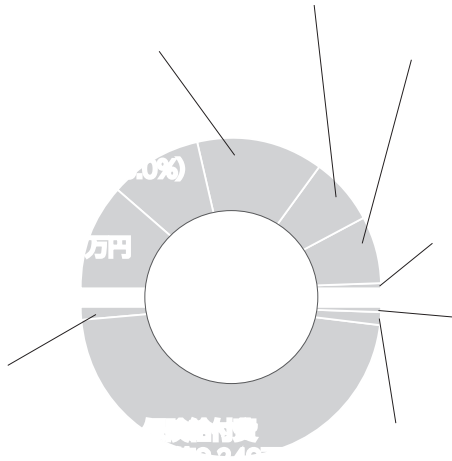
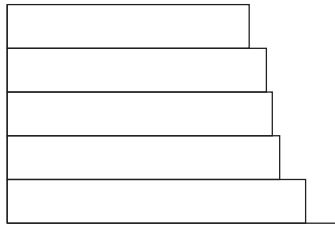
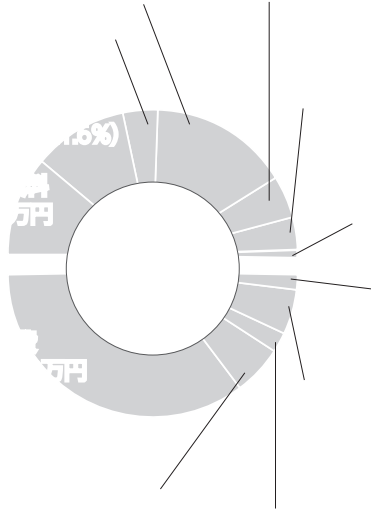
No.1062

広報 長岡京

子どもたちの未来へ 踏み出す一歩

今年度は市制施行40周年の節目の年。成熟した大人のまちとして、新たな時代への一歩を踏み出します。阪急新駅を中心とした都市基盤の整備や公共施設の耐震化、地域力の向上、文化力の創出など、足元の課題をしっかりと見定め、子どもたちの未来へつなぐ力を進めていきます。市民の皆さんからお預かりした大切なお金の使い道についてお知らせします。

【写真】木の香りとぬくもりを感じる園舎に、子どもたちの笑い声が響く(4月12日、今里保育園で)

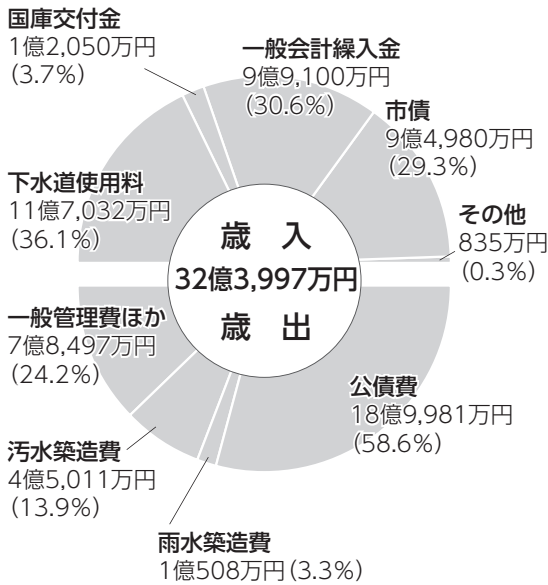


公共下水道事業の特別会計

前年度と比べて2億3467万円(7.8%)の増額となりました。

京都第二外環状道路事業の進捗に伴う下水道の未普及地区への新設工事費は一時的に増額しますが、来年度で新設工事はほぼ完了します。今後は古くなった下水道管を計画的に改修・更新するための費用が工事費予算の中心となります。

歳出の中で、大きな割合を占めているのが公債費で、今までの工事にかかった借入金返済額を表しています。歳入の市債(新たな借入額)よりも、元金の返済額である公債費が大きいため、借入金の残高も緩やかに減少する予定です。



■予算の推移

年度	歳入	歳出	増減
20年度	32億 70万円		
21年度	32億1,642万円		
22年度	29億3,511万円		
23年度	30億 530万円		
24年度	32億3,997万円		7.8% ㊦

■災害に強いまちづくりを目指して
大雨による浸水被害を防ぐために、今年度末の完成をめざして、風呂川排水区の野添公園の地中に雨水の貯留施設を建設しています。あわせて、犬川排水区の基本計画の変更や、京都府いろは呑龍トンネル雨水南幹線の整備計画に伴い、本市の雨水整備も進めています。また、老朽化した下水道管を継続的に、安全に使用するために「下水道長寿命化計画」を策定します。計画的に下水道管の改修・更新をすることで、一時期に集中する維持管理費用を均等にならし、下水道事業を健全に運営できるように整備方法を検討します。

水道事業会計

水道事業は公営企業として、市の一般会計や特別会計とは別に、料金収入を主とした独立採算制で運営しています。

水道事業会計は、お客様に水道水をお届けするための「収益的収支」と投資的経費として水道施設を整備・改修するための「資本的収支」があります。

■安定した水供給に向けて

本市の「水道ビジョン」実現に向けて、平成22年度から平成26年度までの5力年を計画期間とする「水道

事業中期経営計画」をもとに今年度の予算を編成しました。

主な事業は、給水区域統合事業として、2年間をかけて北配水池の築造工事や周辺の配管整備工事に着手します。あわせて、基幹管路の耐震化や鉛製給水管の取り替え、老朽化した配水管の更新を行います。また、地下水を将来にわたって活用できるように、新たな浄水施設を設け、より安全な処理方法への変更を検討しています。今年度は、変更に伴う国への認可申請の業務委託を予定しています。

■収益的収支(税込み)

項目	金額(万円)	
収益的収入	水道料金	20億7,810万円
	受託工事収益	8,981万円
	一般会計補助金	4,262万円
	下水道徴収受託料ほか	9,022万円
	計	23億 75万円
収益的支出	府営水道受水費	9億 812万円
	減価償却費	4億1,568万円
	人件費	2億3,100万円
	受託工事費	1億 683万円
	修繕費	1億6,326万円
	動力費ほか	4億7,948万円
	計	23億 437万円
当年度純損失	362万円	

■資本的収支(税込み)

項目	金額(万円)	
資本的収入	企業債	3億2,000万円
	加入金・分担金	1億1,013万円
	負担金ほか	250万円
	計	4億3,263万円
資本的支出	建設改良費	6億7,122万円
	企業債償還金	2億1,708万円
	計	8億8,830万円

問 上下水道部 総務課 下水道係

☎ 95559538

FAX 9512200

問 上下水道部 総務課 水道係

☎ 95559538

FAX 9512200